



ホワイトボード



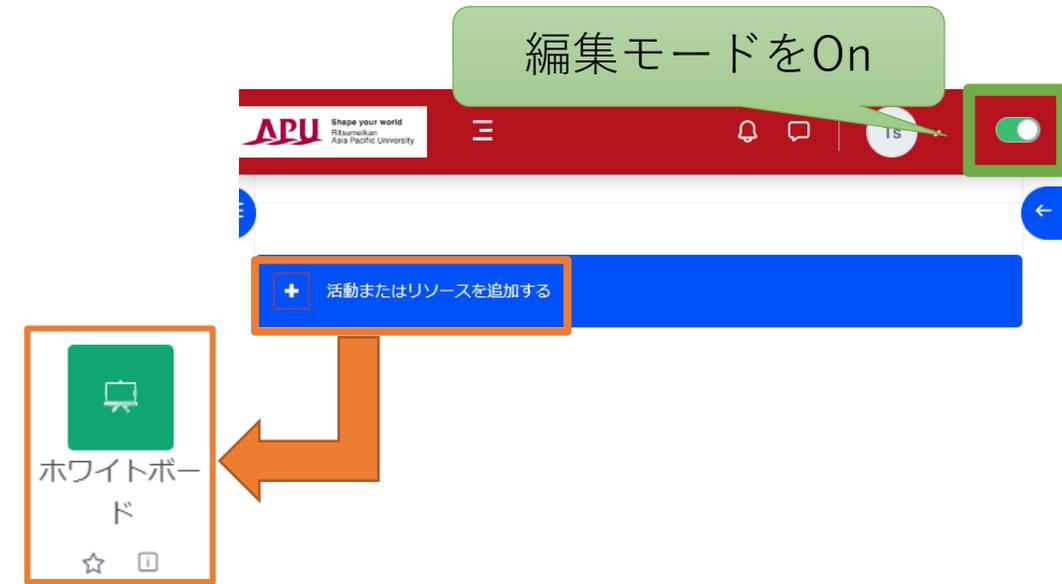
目次

目次	内容	ページ
1	ホワイトボードについて	P3-4
2	ホワイトボードを設定する(各種詳細)	P5-8
3	ホワイトボードを確認する	P9

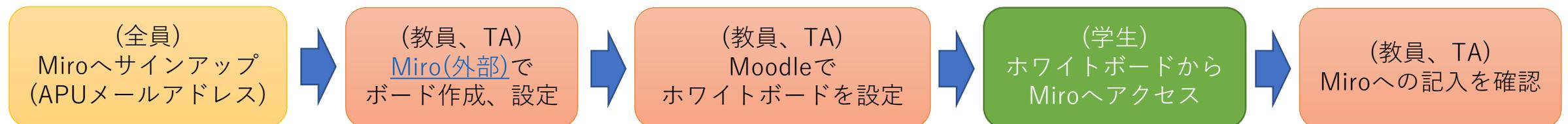
ホワイトボードについて



- ホワイトボードでできること(例)
 - [Miro](#)との連携
- 「+活動またはリソースを追加する」から「ホワイトボード」を選択



ホワイトボードの流れ



ホワイトボードについて



- この機能を利用するには、[Miro\(外部システム\)](#)へサインアップして、利用する必要があります。
 - サインアップは教員、学生共にAPUメールアドレスで行う必要があります。

miro Miroについて ソリューション リソース Enterprise 価格 JA お問い合わせ サインイン 無料で登録する →

チームでの共同作業のためのボード

時差や場所に関係なく、いつでも、どこでもオンラインホワイトボードでのコラボレーションを実現しましょう。

勤務先Eメール

無料で始める →

料金はずっと無料！クレジットカードの登録もありません。

4500万人以上のユーザー Walmart Cisco Deloitte

APUメールアドレスでアカウントを作成すると、すでに学内で作成されたチームに参加するか確認画面が表示されます。参加するか、新しいチームを作るかは、ご自身の管理しやすい形で選択してください。

@apu.ac.jp で他のチームに参加する

次のチームは @apu.ac.jp の利用者であれば誰でも参加できます：

AT	APU Team メンバー 768 名	参加
チ	チーム検証用 メンバー 1 名	参加

オフィスの検証用

+ 新しいチームを作成

ホワイトボードを設定する

miroのリンクから、ID部分をコピーして、入力する
(<https://miro.com/app/board/> **[ボードID]** /)

一般

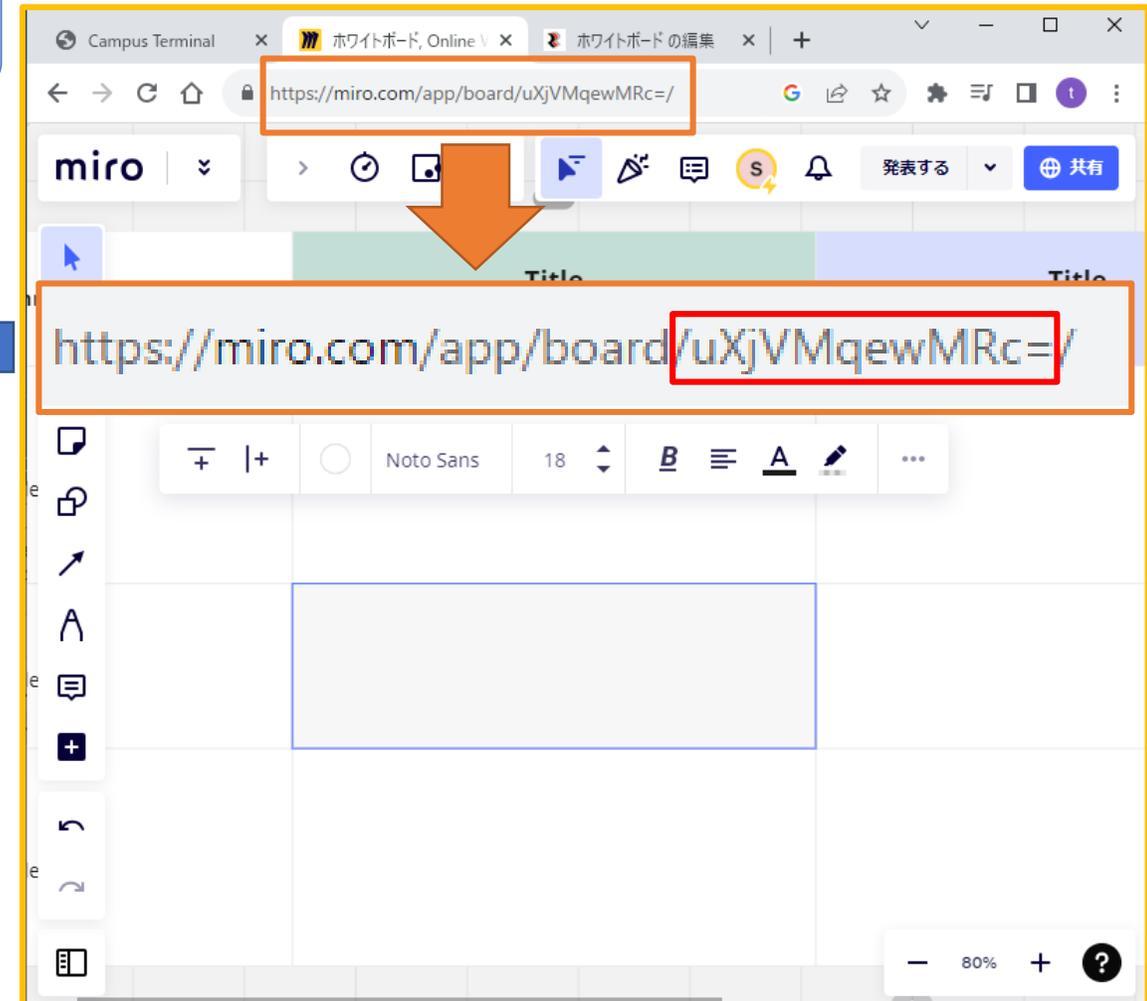
名称 **タイトルを入力**

ボードID **←**

説明

コースページに説明を表示する

**ホワイトボードの説明を入力
(説明が不要な場合は記入しない)**



(各機能共通)モジュール共通設定



ホワイトボード
Miroボード

秘匿にした場合は、コーストップページにこの表示が出る



モジュール共通設定

利用 🔍

IDナンバー 🔍

言語の強制

グループモード 🔍

グルーピング 🔍

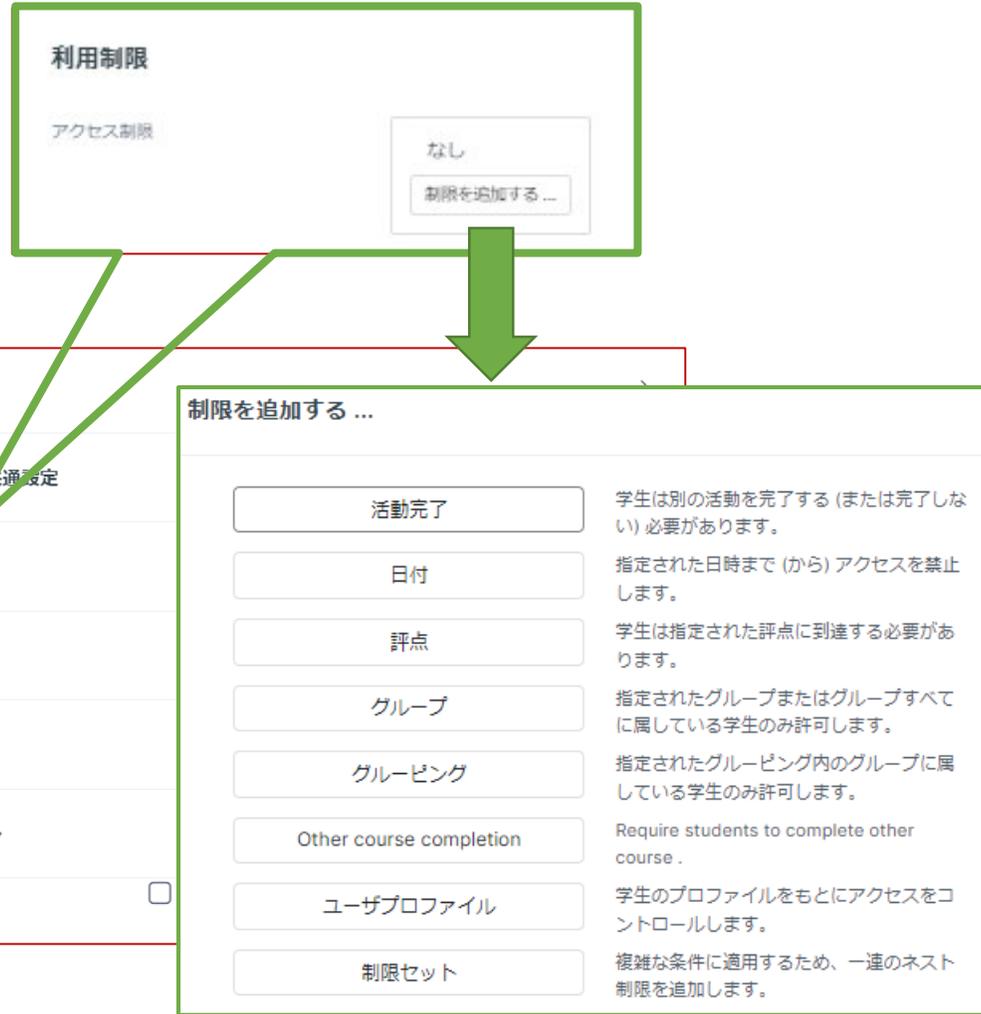
グループ/グルーピングアクセス制限を追加する

- 一般
 - モジュール共通設定 >
 - 利用制限 >
 - 活動完了 >
 - タグ >
 - コンピテンシ >
- コンテンツ変更通知を送信する 🔍

モジュール共通設定

利用	「表示する」か「秘匿にする」か選択する。 秘匿にした場合、「表示する」設定に変更するまで学生は見る事ができない。	
IDナンバー	機能に対してIDナンバーを付けることができる。(教材識別用) 基本は空白のまま、利用しません。	
言語の強制	学生が開いた際に、表示される言語を強制することができる	
グループモード	グループなし	コースに登録された全員で利用できる
	分離グループ	それぞれのグループメンバーはグループ内のみ利用できる。他のグループは閲覧できない
	可視グループ	それぞれのグループメンバーはグループ内のみ利用でき、他のグループも閲覧することができる
グルーピング	コースでグルーピング(グループの群)を設定している場合に設定	
グループ/グルーピング アクセス制限を追加する	下の「利用制限」にグループ毎の設定を追加することができる *上のグループモードでグループ設定をオンにしている場合にのみ設定可能	

(各機能共通)利用制限



利用制限	
活動完了	この機能を利用する前提条件として、コース上に存在する別の機能を完了することでアクセスできるようにする。 例1： 特定のアンケートを回答していないとアクセスできない 例2： 特定の課題を提出していないとアクセスできない
日付	この機能の利用開始日時(コース上に表示される日時)、利用終了日時(コース上から非表示となる日時)を設定できる
評点	この機能を利用する前提条件として、コース上に存在する課題や小テストで一定の得点を獲得することを求める場合に設定
グループ	指定したグループ、またそれ以外の学生に対してアクセス条件を設定する
グルーピング	指定したグルーピング(グループの群)内のグループに属している学生にのみアクセスを許可する設定
Other course completion	他のコースを完了していることを条件とする場合に設定(利用を推奨しません)
ユーザプロフィール	指定した学生に限定して、この機能の利用を許可する設定 例) 特定の学籍番号の学生にのみ許可する
制限セット	上記の設定を複数用いて、より複雑な制限をかけたい場合に設定

(各機能共通)活動完了、タグ、コンピテンシ

活動完了

学生が機能を利用したかどうかを確認することができます。設定すると、コース画面の機能にチェックボックスが表示され、学生がその教材を閲覧するなど様々な条件でチェックが入るようにできます。また、教師はコース全体で、どの学生がどの教材を視聴したかを確認し、学習の進捗を把握することが可能になります。

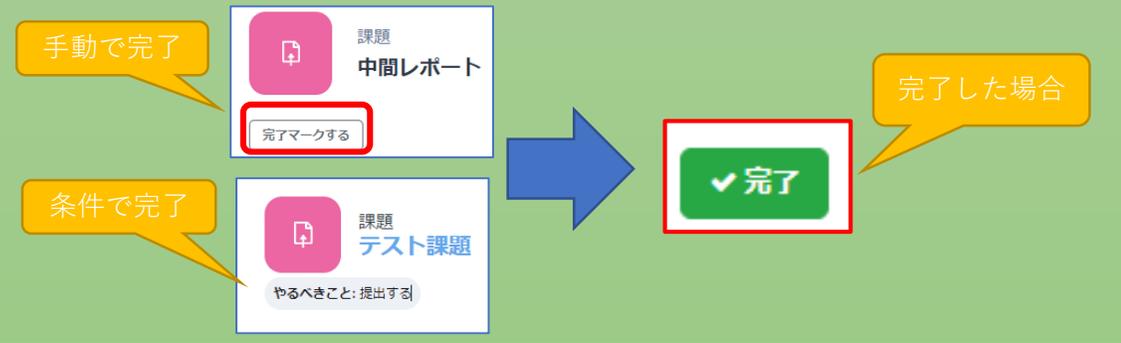
完了トラッキング	
活動完了を表示しない	学生に活動完了を表示チェックボックスを表示させない
ユーザが手動で活動を完了マークできる	活動完了チェックボックスに、学生自身が手動でチェックを入れることができます。学習の進捗管理を学生自身に委ねる場合はこの設定にしてください。
条件を満たした場合、活動完了を表示する	下で設定する条件を満たした場合、自動的に活動完了にチェックが入るようになります。学習の進捗を教師が把握をしたい場合はこの設定にしてください。

条件	
閲覧する必要がある	ここにチェックを入れると、学生がコンテンツを閲覧する（送信後または評価完了後）と、自動的にチェックが入ります
評価される必要がある	教員が評価を行った時点で、活動完了とみなされ、自動的にチェックが入ります
合格点に達する必要がある	評価を受け、合格点に達していた場合にのみ、自動的にチェックが入ります
送信(提出)する必要がある	学生は課題等を送信(提出)すると自動的にチェックが入ります

The screenshot shows the Moodle course settings page. Three callout boxes highlight specific settings:

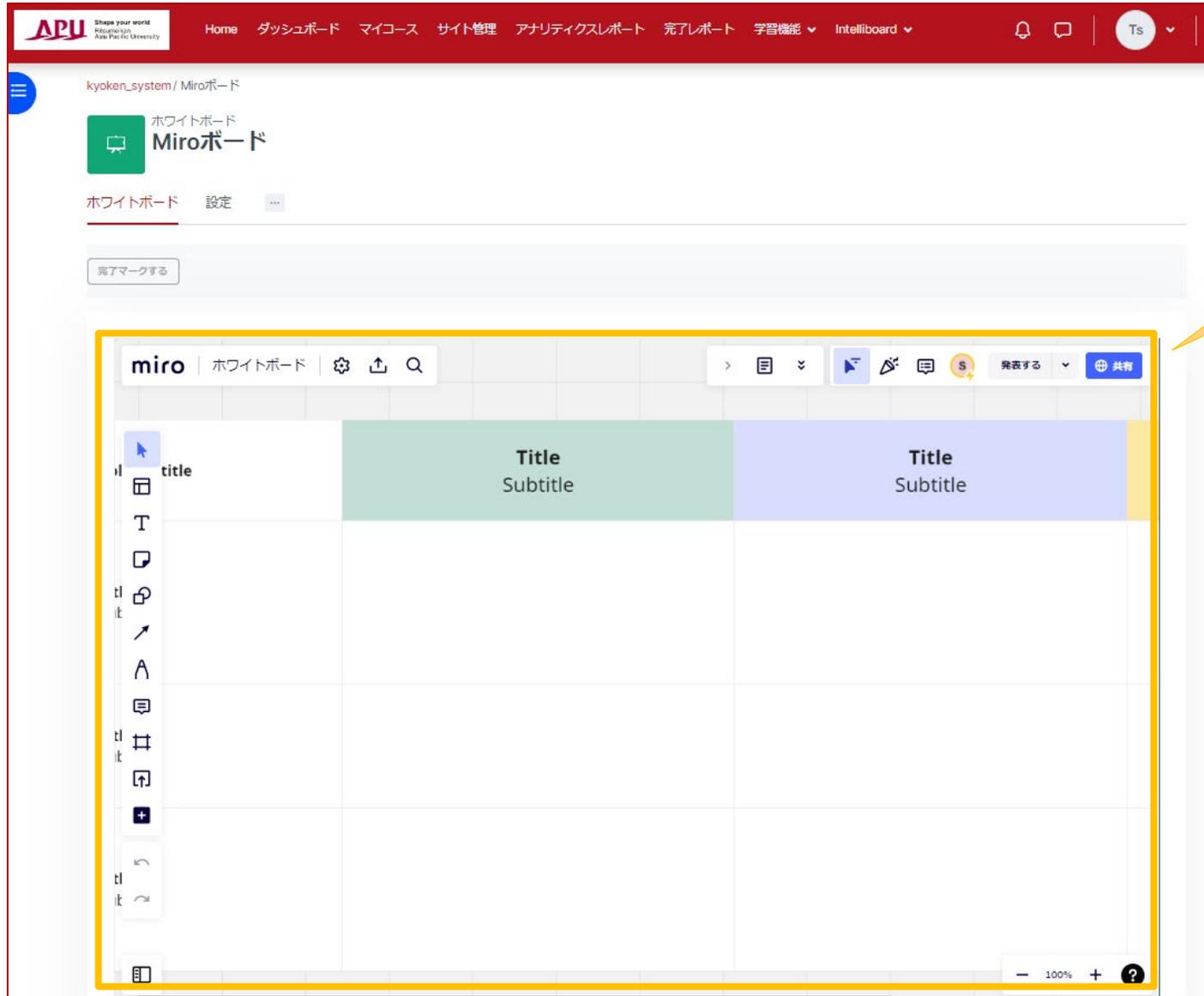
- 活動完了 (Activity Completion):** A green box highlights the 'Activity Completion' section. The 'Activity Completion' checkbox is checked. Below it, the 'Require completion' section has several options checked, including 'Require completion' and 'Require completion on submission'.
- タグ (Tags):** A grey box highlights the 'Tags' section. A text box says 'APU Moodleでは利用しない' (Not used in APU Moodle).
- コンピテンシ (Competency):** A blue box highlights the 'Competency' section. A text box says 'APU Moodleでは利用しない' (Not used in APU Moodle).

At the bottom of the settings page, there are buttons for '保存してコースに戻る' (Save and return to course) and '保存して表示する' (Save and display).



設定が完了したら必ず**保存**

ホワイトボードを確認する



kyoken_system / Miroボード

ホワイトボード Miroボード

ホワイトボード 設定

完了マークする

miro ホワイトボード

title

Title Subtitle

Title Subtitle

100%

設定完了後、Moodleのページから直接miroを操作可能になります。

正しく表示されない、操作できない場合の確認点

- ボードIDが正しく入力されていない
- miroアカウントがAPUメールアドレスでない
- Miroの共有設定が間違っている
 - 編集不可のロックをかけている
 - 共有設定がオフになっている など